



WebHound Version 4 のご紹介

SASインスティテュートジャパン
カスタマーサービス本部
プロフェッショナルサービス第2部

有山茂芳

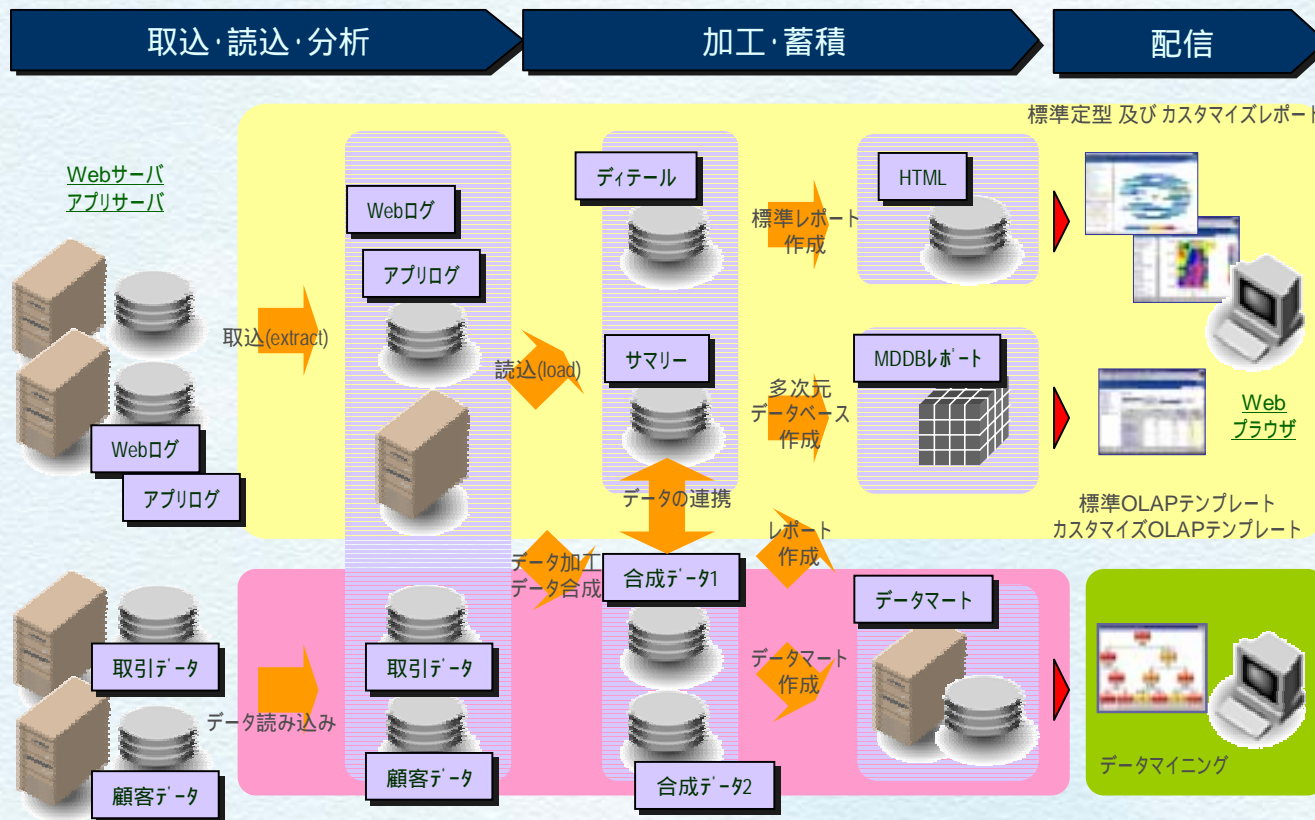
Shigefusa.Ariyama@sas.com

WebHound の概要

■ Webサイトにおける顧客行動分析のためのWebログ解析ツール

... WebHoundの標準的な領域
(分析を容易にするための様々な仕掛け)

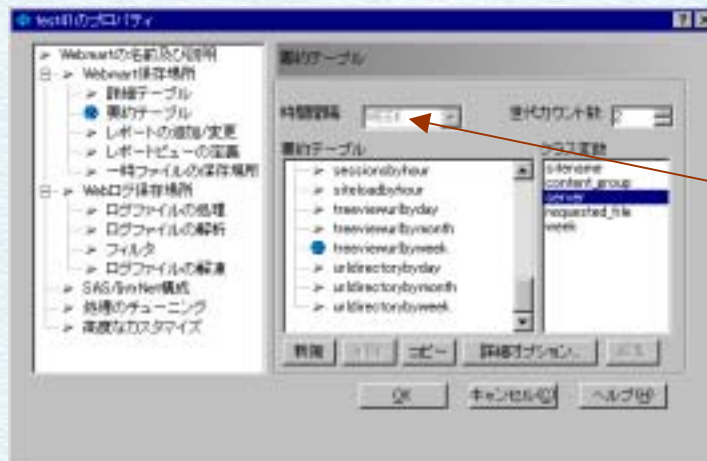
... WebHoundや他のソリューションの領域
(運用上あるいは設計上、望まれる方法で構わない)



WebHound Version 3.1 からの拡張点

■ ETL

- スケジューリングが便利になるロジック (run-only-if ロジック) の追加
例：月の初日だけ特別なレポートを作成する
- サイトごと、サーバーごとに処理をわけることが可能
- リファラーに付随したパラメータを詳細データとして作成可能 (Referrerparms)
- タイムスパン (要約のための時間間隔) を作成するサマリーデータセットごとに設定可能



各サマリーデータのタイムスパンが
データセットごとに定義

WebHound Version 3.1 からの拡張点

■ スケーラビリティ

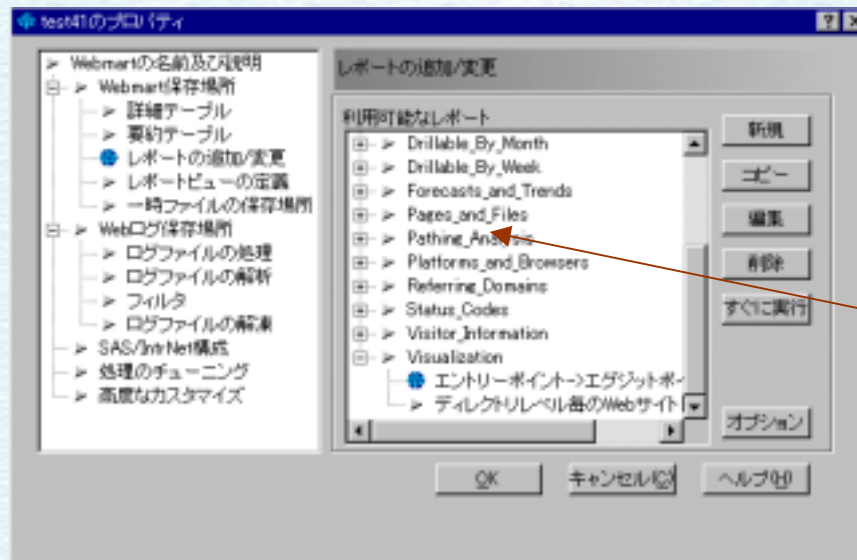
- 取込プロセスだけでなく、レポート作成プロセスでもMP Connect を採用し、マルチプロセッサ環境により効率よく処理
- プログラムの全面見直しによる高速化
- GUIで可能なチューニングに関する設定項目を見直し

■ DNS Lookup 機能

- 正式サポート

WebHound Version 3.1 からの拡張点

- WebHound Administratorのグレードアップ
 - データ定義の追加と変更
 - 例：データ作成時のデータセットオプション追加
 - レポートの追加と変更
 - レポートビューの定義
 - 例：アナリスト向けレポートビュー、エグゼクティブ向けレポートビュー
 - SAS/Intrnet の自動設定

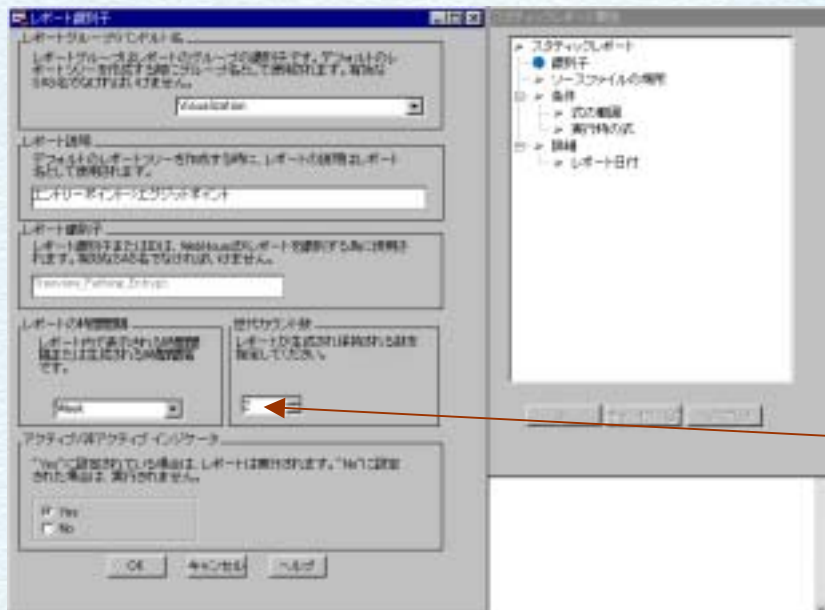


各種レポートをGUIで追加・修正

WebHound Version 3.1 からの拡張点

■ レポート管理

- レポートファイルも経年管理され、指定した期間に合わせ、古いデータは自動で削除されます
- GUIで追加・修正が可能
- サイト・サーバー・コンテンツごとのレポートが作成可能
- ユーザー別レポート作成が可能(レポートビュー設定)
- ドリルダウンレポートの作成が可能



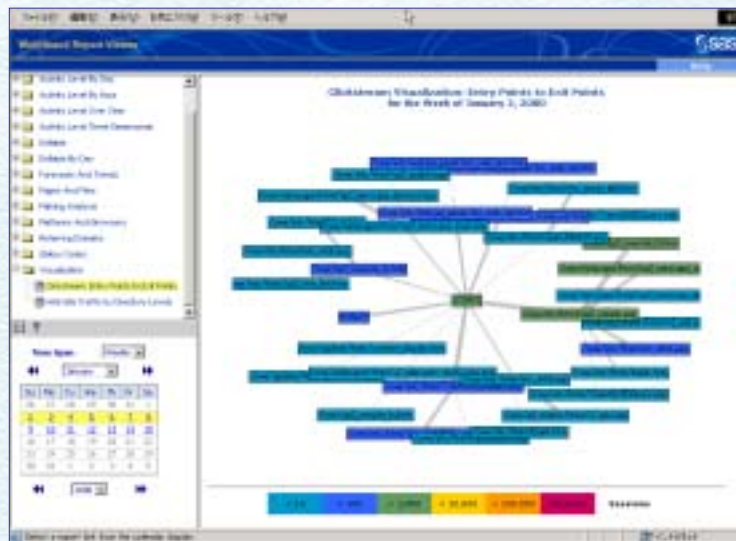
カウント数に合わせて古いレポートファイルは自動で削除

WebHound Version 3.1 からの拡張点

■ 標準レポートの追加

- 標準レポートが300種類以上に
- ツリービューによるクリックストリームレポート
- ツリービューによるディレクトリ構造レポート
- カレンダー機能サポート
- 滞在時間レポート
- リファラーキーワードレポート

カレンダーメニューの追加



エントリーポイント エグジットポイント
のクリックストリームレポート

WebHound Administrator 4 メニュー

Webmart保存場所

WebMartの保存場所は、環境の新規作成時に指定した、結果保存場所です。
このディレクトリパスの変更はできません。

詳細テーブル

このフレームは、WebHoundが生成するWeblog_Detail、CGI Params、ReferrerParams、Pathing、Cookieなどといったテーブルのリストと、各テーブルに保持されるデータの数を設定します。

要約テーブル

このフレームでは、既存の要約テーブル(Summaryデータセット)のカスタマイズ、新規要約テーブルの作成、既存の要約テーブルの削除などができます。

レポートの追加/変更

このフレームでは、静的レポートおよび動的レポートの追加、既存レポートのプロパティのカスタマイズ、使用しないレポートの削除ができます。ソースを書き換えるためのインタフェースも追加されました。

レポートビューの定義

このフレームでは、ユーザー側のニーズに合わせた複数のレポートサイトの構築を支援し、WebHoundレポートングインターフェースの見栄えをカスタマイズできます。

一時ファイルの保存場所

このフレームでは、WebHoundによって生成され、処理の過程で使用される、一時ファイルの保存場所を指定できます。また、ワーク容量軽減のために一時ファイルを削除するかどうかの設定も行います

Webログ保存場所

このフレームでは、Webログの保存場所を指定できます。

ログファイルの処理

セッションタイムアウト設定、子プロセスのSASセッションオプション設定、各種ログファイルごとのINFILEオプション設定、各種ログファイルごとの変数(フィールド)管理、DNS逆引き設定

WebHound Administrator 4 メニュー

ログファイルの解析

URL中のURIステートメント(リクエストファイル)に対する構文解析のレベル設定が行えます。また、CGI等の動的ページを持つデリミタや、Cookieのためのデリミタを指定・追加できます。

ブラウザやプラットフォーム等のフラグ追加などを行えます。

CGIプログラムの場所指定や、Webブラウザの種類追加、プラットフォームの種類追加が可能です。

フィルタ

スペシャルクライアントからのリクエスト、検索ロボットからのアクセス、画像ファイル等の、ページとして扱うべきではないリクエスト、400番台以上のステータスを持つ異常レコードそれぞれについて、WebHound側でどのように処理するか設定できます。

ログファイルの解凍

圧縮されたWebログを処理するかどうか、WebHoundに対して指定できます。

SAS/IntrNet構成

動的ページを使用するための設定支援。アプリケーションサーバー本体のBroker.exeの場所指定や、動的ページを閲覧するための設定が可能です。

処理のチューニング

このフレームで行うカスタマイズは、WebHoundの処理のパフォーマンスに直接影響します。CPU数、メモリ数、等に合わせて各種並列度の設定を変更することにより、パフォーマンスの向上が見込まれます。

詳細なカスタマイズ

このフレームでは、Usermods ライブラリ中のWbetlおよびWbmacrosカタログのソースファイルエントリを編集できます。





The Power to Know™

SUGI-J
INTERNATIONAL JAPAN
2002
INTERNATIONAL JAPAN